

第 27 回修習技術者研修セミナーのご案内

討論テーマ「プロジェクトの推進における業務遂行能力 ーリスクを特定し課題をどのように解決したかー」

公益社団法人日本技術士会修習技術者支援実行委員会では、毎年ご好評をいただいている2日間の研修セミナーを、今年も開催いたします。

新製品や新システムの開発、建設プロジェクトにおいて、環境の急激な変化やクライアントからの要求仕様の変更等プロジェクトを取り巻く状況は目まぐるしく変化していきます。この状況に技術者として対応していくには、プロジェクト遂行上の様々なリスクを特定し課題を的確に解決する能力が要求されます。

今回のセミナーは、国際的な建設プロジェクトと新たな金融システムの開発における業務遂行事例についてお二人の講師からご講演いただき、全員参加型のグループ討議形式で行います。これを機会に一緒に考えてみませんか。奮ってご参加下さい。

(記)

1. 開催日時・日程(予定)

- 1日目 平成 26 年 11 月 8 日(土)13:00(12:30 より受付開始)から 19:30
- 2日目 平成 26 年 11 月 9 日(日)9:00 から 16:40

スケジュール概要(1日目)〔予定〕		スケジュール概要(2日目)〔予定〕	
1. 挨拶	13:00～13:10	1. グループ討議(課題の特定、会 第解決に向けた討議)	09:00～12:00
2. 主旨説明	13:10～13:30	2. 休憩	12:00～12:30
3. 事例Ⅰ講演	13:30～14:50	3. 論理展開まとめ	12:30～14:00
4. 休憩	14:50～15:00	4. 発表シート作成	14:00～15:00
5. 事例Ⅱ講演	15:00～16:20	5. 発表、質疑応答	15:00～16:00
6. アイスブレイキング	16:20～16:50	6. 休憩	16:00～16:10
7. グループ討議(プロジェクトの選定)	17:00～18:15	7. 全体講評、修了証授与	16:10～16:40
8. 情報交流会	18:15～19:30		

(スケジュールは変わる可能性もあります)

2. 場所

日本技術士会会議室(葺手第二ビル5F)

3. 募集人数

先着 40 名(定員になり次第締切)【技術士の方はご遠慮願います。お近くの修習技術者にご案内ください。】

4. 参加費(資料代、情報交流会費を含む)

準会員または学生・院生(修習技術者):4,000 円 非会員修習技術者:6,000 円

5. お申し込み先およびお問い合わせ先

日本技術士会のホームページ(<http://www.engineer.or.jp>)又は FAX にてお申し込み下さい。

HP でのお申し込み:技術士会 HP のトップページ「最新情報」をご覧下さい。

FAX でのお申し込み:「第 27 回修習技術者研修セミナー参加」と明記の上、氏名、住所、電話番号、E メールアドレス、勤務先、技術部門、年齢および準会員、非会員の区別を記載し、下記宛にお申し込み下さい。

お問合せ先:公益社団法人日本技術士会事務局 TEL:03-3459-1331 FAX:03-3459-1338

【セミナーの概要・目的】

規模の大小やプロジェクトの種類に限らず、ひとつのプロジェクトを遂行するためには、当該プロジェクトを取り巻く環境の急激な変化、例えば発注者の要求仕様の急変、コスト削減の要請、安全上の問題等々様々な解決すべき課題が発生します。

そのため、技術者にはプロジェクトを完成させるため、プロジェクト遂行上のリスクを特定・分析し、問題が顕在化することのないように対策を講じる能力が要求されます。これらの課題解決能力を高めるにはどのような資質が必要なのか、またその資質を高めるには、どのようなことに注力すべきかをグループで討議をします。

そして、本セミナーを通じて技術者として如何に社会に貢献するかも考えます。また、グループ討議や情報交流会を通じて、年代・技術部門を超えた技術者ネットワークの形成を図ることを第三の目的としております。皆様のご参加をお待ちしております。



写真左：グループ討議の様子 右：情報交流会の様子

【当日講演】

講演 - 1 「ボスボラス海峡横断トンネル工事に挑む」

小山 文男氏 大成建設株式会社 調達本部 第二調達部長 土木学会フェロー
特別上級土木技術者（施工・マネジメント）

東西文明の十字路として栄えたトルコの歴史的な地において、150年前オスマンの時代に構想された「ボスボラス海峡横断トンネル」は、水深60mと深い上に潮流速度が大きく、かつ海面と海底の流れが逆という特異な現場状況の中で実施されたプロジェクトである。

加えて、大型船舶やフェリーの航行による安全管理等困難な課題が山積しており、世界中の専門家から「不可能に近い事業」と言われたプロジェクトである。国家の威信を背負ったプロジェクトの主要工事を統括する責任者として、当該プロジェクトのリスクをどのように想定・克服し、プロジェクトを完成に導いたのか

講演 - 2 「計画中の計算機を適用した情報システムの開発」

川村 智氏：株式会社日立産業制御ソリューションズ 画像ソリューション本部 主任技師
技術士（情報工学部門）

グローバル企業から受注した金融情報システムの開発において、システムの心臓部である中央演算装置が未だ完成していない状況の中、社運を賭けたプロジェクトに主務担当技術者として従事した。

クライアントからの信頼獲得、仕様変更への対応、システムの品質管理と納期の厳守というトレー

ドオフの克服等々、想定されるとリスクとそれにどのように挑み、課題をどのように解決し、重要なプロジェクトを完成させたのか

【留意事項】

- ・過年度は2日間の合宿形式を取っていましたが、一昨年から合宿形式を取っていません。また遠方からの参加者で宿泊が必要な方は、各自で宿泊施設を手配して頂く必要があります。
- ・2日間を通してのセミナーとなっております。1日のみの参加はできません。
- ・2日目の昼食を各自で予めご用意下さい。
- ・今回のセミナーでは2日目の昼食時間は特に設けておりません。昼食を取りながら討議を進めて頂きます。会場近くにはコンビニエンスストア等がございます。

【セミナー会場】

東京都港区虎ノ門 4-1-21 葺手(ふきで)第2ビル
(会場案内図参照)

東京メトロ日比谷線 神谷町駅(4b 出口)から徒歩3分

【最寄り駅までの所要時間目安】

茅場町から神谷町駅まで日比谷線で13分

北千住から神谷町まで日比谷線で30分

中目黒から神谷町駅まで日比谷線で12分

